

令和3年度 公募推薦入試 小論文試験問題 (800字以内 制限時間 60分)

《人間心理学科》

【1期】

「心理学」という学問が社会で必要とされる理由と、その意義について述べなさい。  
そのうえで、あなたが大学で「心理学」を学びたい動機を具体的に説明しなさい。

【2期】

あなたが大学で心理学を学びたい理由を、あなたが志望する将来の進路・職業と関連づけて具体的に説明しなさい。

《現代社会学科》

【1期】

知的好奇心と呼ばれるものが働く背景には2つの種類があると言われています。いわゆる「物知り」と言われる人のように「それは何か?」ということが知りたい場合と、時として小さな子供がそうであるように「それはなぜか?」ということが知りたい場合の2つです。あなたはどちらのタイプですか?そしてそれはどうしてだと思いますか?具体例をあげて説明してください。

またその際、それらのことを知りたいと思う動機について、以下の4つの項目のうち、ひとつ、あるいはいくつかと結びつけて整理してください(「知ること自体が楽しいから」「いま抱えている問題を解決したいから」「まわりからの評価が気になるから」「そうしたことは特に意識していない」)。

【2期】

「共感=シンパシー (sympathy)」という言葉はギリシャ語が語源であり、「syn (共に)」と「pathos (哀しみ)」という単語が組み合わさってできた言葉とされています。その意味で、つらい状況で感情的に作用する心の働きとしてとらえることができます。これと比べて、必ずしもつらいときではなくとも、自分と違う価値観や理念を持っている人が何を考えているのか、知的に考えて想像する場面を指して「感情移入」という言葉を用いることがあります。

こうした「共感」や「感情移入」を働かせるためには、それぞれどんな意識や心の準備が必要だと思うか、あなたの日常生活の場面を振り返って説明してください。

## 《経営社会学科》

### 【1期】

日本では1988年に消費税法が施行され、1989年4月から消費税率3%が適用された。その後、消費者の反発を受けながらも、1997年9月に5%、2014年4月に8%と段階的に引き上げられ、2019年10月には10%（飲食料品などは軽減税率適用で8%）に引き上げられ現在に至っている。日本では人口の少子化・高齢化に伴って、年金、医療、福祉のための財源確保が重要な課題となっている。直接税中心の税制では、納税者の重税感や不公平感が高まり、事業意欲や勤労意欲をも阻害することにもなりかねないという問題点が長年指摘されてきた。消費税は、消費をする幅広い国民が税負担をする間接税であり、税負担の公平性が高いと言える。

日本の将来的な人口動態や財政状況を考えると、消費税率は今後将来にわたって12%、15%、18%と引き上げる必要があると指摘する専門家の意見も聞かれる。ところが2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大が世界各国の経済を直撃する中で、付加価値税（日本の消費税にあたる間接税）を減税する国が相次いでいる。消費を活性化させ、コロナ禍での消費減少に伴う打撃を受けた業界を支えることが目的である。日本でも景気刺激策として、消費税率を現在の10%から5%に引き下げるべきだという意見が野党や与党の若手議員から聞かれている。

消費税率の今後のあり方について、あなたの意見を述べなさい。

まず、どうあるべきかという結論を書き、次にその結論を導き出すに至った理由を具体的な事例を組み入れて論述し、最後にもう一度結論を書いてまとめること。

### 【2期】

購買に際して現金の受け渡しをすることなく、カードやスマートフォンを利用して支払いを完了する「キャッシュレス」の普及は世界中で進んでいる。2015年の調査データによると、各国の決済全体に占めるキャッシュレス決済の比率は、韓国では約90%、中国では約60%、欧米の国々では45~55%程度であるのに対して、日本は20%弱にとどまっており、世界的にみてキャッシュレス化が遅れている。

近年ではスマートフォンの急速な普及に伴い、アプリやQRコードを利用した様々なキャッシュレス決済サービスが提供されるようになった。一方、キャッシュレス化はメリットばかりとはいええない。外国ではキャッシュレス利用が増加したことを背景に、個人のクレジットカード利用が増加し、カード破産が増加したとの報告もある。

日本政府は将来的に、キャッシュレス決済の比率を世界最高水準の80%まで引き上げるとしている。2019年10月の消費増税にあわせて、政府がキャッシュレス決済のポイント還元を導入したのも、キャッシュレス決済の普及を後押しするためである。そして2020年に入ってから新型コロナウイルス感染拡大が問題となったことで、現金の受け渡しに伴う感染リスクが意識されるようになり、商店や消費者にとってはキャッシュレス決済を選好する機運を加速する要因となっている。

キャッシュレス化の今後のあり方について、あなたの意見を述べなさい。

まず、どうあるべきかという結論を書き、次にその結論を導き出すに至った理由を具体的な事例を組み入れて論述し、最後にもう一度結論を書いてまとめること。

### 《マス・コミュニケーション学科》

#### 【1期】

2020年5月、リアリティー番組「テラスハウス」に出演していたプロレスラーの木村花さんが、会員制交流サイト（SNS）で視聴者らから誹謗中傷を受けた後に死去した。インターネット上の匿名での誹謗中傷に対し、私たちはどのような対策を講じるべきなのか。「表現の自由」と「人権」の両方に言及し、対策を論述しなさい。

#### 【2期】

2019年の参議院議員通常選挙の投票率は、年代別で10歳代が32.28%、20歳代が30.96%だった。これは70歳代以上までの七つの年代で6、7番目となる投票率の低さである。若者の投票率が低い原因と、投票率を上げる対策を論述しなさい。その際、あなたの個人的体験に言及すること。

### 《情報文化学科》

#### 【1期】

現在の社会情勢を踏まえ、情報関連技術がどのように活用されるべきか、自分の考えを述べなさい。

（あなたが特に注目する情報関連技術を示し、具体例を挙げてまとめること。）

#### 【2期】

異文化コミュニケーションを進めるために重要と思われる点は何か。具体例を交えながら自分の考えを述べなさい。

### 《こどもコミュニケーション学科》

#### 【1期】

保育士（幼稚園教諭）として欠かせない資質とはどのようなものだと考えますか。また、将来、保育士（幼稚園教諭）として働くことになった場合、どのようなことを大切にして働きたいと思いますか。自分の考えを述べなさい。

#### 【2期】

幼児教育における季節行事の重要性についてどのように考えていますか。例を挙げて具体的に述べてください。また、その重要性を踏まえて、将来、どのような保育士（幼稚園教諭）になりたいと思いますか。自分の考えを述べなさい。